

整理No. 2018-80		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2018年 11月 2日(金) 10時 40分 天候(晴れ) 温度(- ℃)湿度(- %)			
災害区分		☒ 不休災害 ☐ 休業災害 (休業:一日)			
被災者	部門	技術		雇用形態 ☒ 正社員、派遣、契約、その他(構内委託)	
	年齢	24歳	性別: 男 ☐ 女 ☒	勤続年数 1年 7か月	経験年数 1年 7か月
	傷病名	薬傷			
	傷病部位	右目			
災害発生状況	溶剤(第2石油類)が入った洗浄槽にグレーチングを入れ付着した塗料カスを除去する為、洗浄ブラシを使って擦りながら取除いている時、飛散した溶剤が保護メガネの極僅かな隙間から右目に入った。 ※目に入った後、直ぐに20分間流水洗浄し、看護師による洗眼後、念の為に眼科で診察を受診。帰社後、仕事に復帰。 ※被災者は保護メガネ、防毒マスク、保護手袋を着用しグレーチングにはアースを取り付けた状態で作業。			状況概略(写真orイラスト) 	
	災害の型 ^{※1)} 8. 有害物との接触			作業の形態: 定常 ☒ 非定常、その他()	
	起因物: 溶剤			特記事項	
原因分類	1.人的要因(man)				
	清掃手順が定められていなかった。				
	2.物に関する要因(machine)				
	保護メガネと保護マスクの間に極僅かな隙間が出来、そこから溶剤飛び込んだ。				
	3.環境要因(media)				
	作業者の清掃位置と横置きに位置するグレーチングとの距離が近かった。				
対策	4.管理的要因(management)				
	清掃手順が定められていなかった。				
	①非定常作業の清掃時に於いては、より高い防護性を実現したゴーグルタイプ保護メガネを使用する。				
	②大型ブース(グレーチング)清掃手順を作成し、標準化と教育で取扱者へ周知する。				
	③非定常作業におけるリスクアセスメントの見直しを実施する。				
	対策分類 ^{※2)} : 1-2災害・事故の想定と対応、1-3リスクアセスメント、1-6教育、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)